



3師団だより

近畿2府4県の平和と安全を担う第3師団の広報紙

師団訓練検閲

～総力を結集して任務完遂！！～



各種行事・訓練

師団訓練検閲

令和5年度第1回方面実動演習（災害対処）

第3飛行隊・第3特殊武器防護隊協同訓練

第36普通科連隊中隊訓練検閲

対空実射転地訓練

武装走競技会

第3師団隊員紹介コーナー

師団戦士

我が部隊の新戦力

一隅を照らす

私の大切な物



第3師団の慰霊碑を巡る旅

第3師団管内 慰霊碑全体図



職場の豆知識

「 鯛 」 著：ジョシュア





総力を結集して任務完遂!!



師団(師団長 佐藤陸将)は、7月初旬、あいは野演習場において、第3特科隊(隊長 米村1佐)に対し、師団訓練検閲を実施した。

本訓練検閲は、防勢的な戦術行動における特科隊の行動について、「各級指揮官の状況判断」、「諸職種協同による戦闘力の組織化」及び「部隊の基本的行動」を評価し、じ後の進歩向上を促すことを目的として実施した。また、演習師団司令部及び演習師団隷下部隊本部を開設し、受閲部隊を含む師団全体の指揮幕僚活動能力の強化を図った。



訓練開始式



第3特科隊最先任上級曹長による激励歌



第3特科隊長(米村1佐)



統裁官(佐藤陸将)

状況開始



掩体構築



中隊長による命令下達



12.7mm重機関銃を使用した対空戦闘



射撃準備



射撃を指揮する砲班長



据砲されたFH70



FH70の陣地進入



南海トラフ地震の発生を想定して実動演習を実施



自治体職員との調整



航空機による補給物資を運搬する隊員



山地機動訓練



偵察用ボートによる渡河訓練



各自治体へ輸送するための物資の仕分け・集積

師団（師団長 佐藤陸将）は、6月下旬、中部方面隊が実施する令和5年度第1回方面実動演習（災害対処）に参加した。

本演習では、南海トラフ地震による大規模災害発生を想定し、航空機による物資輸送、道路寸断時における山地機動及び偵察用ポートによる渡河訓練などを演練した。また、災害時の指揮幕僚活動、自治体・各関係機関との調整等、対処要領の検証及び関係機関との連携強化・災害発生時における実効性の向上を図った。



原子力災害に備え対処能力を向上



航空機及びパイロットに対する放射線測定



航空機による放射線強度の測定



訓練後の記念撮影

第3飛行隊及び第3特殊武器防護隊は、6月29日（木）、八尾駐屯地内において協同訓練を実施した。

本訓練は、南海トラフ地震発生時における原子力災害に際し、航空機による放射線偵察、空中モニタリングを主体として実施した。

訓練では、放射線測定要領、航空機等の除染要領について、部隊間の認識を統一して、原子力災害対処能力の向上を図った。



検問所での警戒及び誘導



建物に突入する隊員



点検ミラーを使用した車両の安全確認



建物内の連携を取る隊員

第36普通科連隊第4中隊(中隊長 柏原3佐)は、7月初旬、あいは野演習場において中隊訓練検閲を受閲した。本訓練検閲においては、都市部における戦闘行動、検問所の構築、運営等を実施し、部隊の市街地戦闘能力の進歩向上を図った。

市街地での戦闘能力を向上



射撃の指揮を執る分隊長



屋内シミュレータでの模擬実射訓練



93式近距離地对空誘導弾の射撃準備

第3高射特科大隊(大隊長 船崎2佐)は、6月下旬、静内対空射撃場において、対空実射転地訓練を実施した。本訓練は、対空戦闘における近SAM小隊の射撃練度向上を目的として実施され、屋内シミュレータを用いた模擬実射訓練及び射撃準備訓練を行った。訓練を通じ、小隊の練度を確認し、じ後の実射訓練に向けて態勢の万全を図った。

対空実射訓練に向け態勢を確立



土のう運搬



声援を受けて力走する隊員

第3施設大隊(大隊長 林田2佐)は、7月14日(金)、大久保駐屯地内において武装走競技会を実施した。本競技会は、各隊員の戦技能力の向上及び部隊の団結の強化を図ることを目的として行われた。個人走及び断郊走(チーム走)によるタイムによって競い合った。参加隊員は、個人の名誉と部隊の威信をかけ、自身の限界に挑戦し、白熱した戦いを繰り広げた。

激走! 武装走競技会



担架搬送



困壁の通過

師 団 戦 士

「立派な陸曹を目指して」



第37普通科連隊第1中隊 3等陸曹 横矢 直大



第37普通科連隊第1中隊に所属する横矢 直大(よこや なおひろ) 3曹へのインタビューです。

横矢3曹は、平成29年9月に第37普通科連隊第1中隊に配置され、現在は、対戦車小隊の操作手として活躍しています。

Q 出身地、陸曹教育隊入校時期は。
A 大阪府出身、第140期 令和4年1月入校です。

Q 陸曹教育隊入校間について印象に残っている訓練は。
A 防衛訓練です。分隊長を務め、指揮することの難しさを実感しました。特に苦勞したことは、寒い屋外での冬場の入校のため、寒い屋外での訓練が非常に大変でした。

Q 入校間で特に学んだことは。
A 企図の徹底です。指示するだけではなく、認識の共有を図ることが重要だと学びました。

Q 陸曹になってからの心境の変化は。
A 責任感と使命感が強くなりました。訓練及び日々の生活においても陸士の模範となれるよう心掛けています。

Q 今後の部隊での目標は。
A 対戦車小隊の中核となり、後輩育成に励み、部隊の任務達成に寄与することです。

Q 陸曹を目指す後輩隊員に一言。
A 日々の訓練の中で何かひとつずつでも学び、吸収していけば陸曹へと近づくことができると思います。

我が部隊の新戦力

「通信陸士として」



第3飛行隊通信班 陸士長 宮戸 大輝



第3飛行隊通信班に所属する宮戸 大輝(みやと たいき) 士長へのインタビューです。

Q 出身地、入隊時期は。
A 大阪府出身、令和4年4月入隊です。

Q 入隊の動機は。
A 自衛隊が好きで父からの勧めです。また、知り合いの広報官の方から部隊での体験談や興味深い話を聞き、魅力を感じ入隊を決意しました。

Q 新隊員教育での思い出は。
A 前期教育で実施した25km行進訓練後に行ったハイポット走です。

Q 現職務のやりがいは。
A 通信班の通信手として、操縦士と対空通信を実施し、安全かつ円滑な航空機の飛行任務に携われることです。

Q 通信機材の名称や使用方法、暗号電信及び有線の縛着方法などの新しい知識を習得することに苦勞しています。
A 営内での生活は、先輩たちと楽しく、和気あいあいと充実した生活を送っています。

Q 今後の目標は。
A 陸曹候補生選抜試験に合格し、より高度な知識及び技術を身に付け、部隊に貢献することです。

Q 最後に一言。
A 前向きに頑張ります。ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いします。

一陽を照らす

「イクメンレンジャー 日々挑戦中！」



第3特殊武器防護隊偵察小隊 3等陸曹 東 達也



第3特殊武器防護隊偵察小隊に所属する東 達也(あずま たつや) 3曹を紹介いたします。

東3曹は、平成20年に第3特殊武器防護隊に配置され、平成25年1月に3等陸曹へと昇任し、現在は偵察小隊化学情報陸曹として勤務しています。

東3曹は、レンジャー教育及び格闘指導官課程での経験を活かし、隊の戦闘力の向上に日々尽力しています。

特に、部隊格闘指導官として、普段から零細時間を活用した格闘技術の練成を実施し、部隊の格闘能力向上に貢献しています。

そんな東3曹は、2児の父親であり、普段から家庭では良きパパとして育児に積極的に取り組んでいます。現在は、掃除・洗濯などの家事に奮闘中です。

また、休みの日は料理にも挑戦しており、最近では中華料理に力を入れていきます。長女からは「概ね良好」の評価をもらっていますが、奥様からの評価は「可」との厳しい評価とのこと。

しかし、持ち前の粘り強さで家族から最高評価の「優秀」をもらえるよう日々努力を重ねています。

公私に渡って充実している東3曹は、部隊の精強化に不可欠な存在であり、今後の活躍に期待しています。

社会の一員として

「万全対策」



元第36普通科連隊 本部管理中隊 千賀 康広さん



令和4年8月に定年退官された、元第36普通科連隊本部管理中隊の千賀 康広(せんが やすひろ)さんの紹介です。現在は、兵庫県西宮市に所在する、株式会社西宮高速運輸で勤務されています。

Q 在隊間印象に残っていることは。
A 連隊本部での勤務です。第3科をはじめ、第2科、第1科とさまざまな業務を経験させていただきました。

Q 自衛隊経験が活かされていることは。
A 広報・渉外班長での勤務です。渉外業務を通じ、誠意ある対応を心掛けることにより、コミュニケーション能力が格段と向上しました。現在の職場でも良好な人間関係を築き勤務しています。

Q 現在の業務は。
A 地場輸送です。各企業からの依頼商品を企業倉庫、問屋へ配送しています。

Q やりがいは。
A 配達表に基づき納品先までの経路等を計画し、万全に商品の配送が完了したときの達成感と、配達先のお客様に「いつもありがとうございます」とお声がけいただいたときにとてもやりがいを感じます。

Q 現役隊員に向け一言。
A 暑さも厳しく訓練等が大変な時期になりますが、くれぐれもご自愛ください。陰ながら応援しています。



